















野菜の需給・価格動向レポート(平成24年4月2日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		2月の価格動向		3月の価格動向			生育及び価格の4月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額			
			下旬		上旬			中旬
葉 茎 菜	キャベツ 	88.05	138	88.05	109	106	・ 神奈川産は、冬場の低温と少雨の影響から生育が遅れており、中旬までは少なめの出荷の見込み。愛知産は、適雨と気温の上昇で玉の肥大が進み、順調な出荷となり、中旬まではまとまった量の出荷が続く見込み。千葉産は、作型の切り替わりの時期で、少なめの出荷となる見込み。 ・ 愛知産の出荷が順調と見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。	
		83.73	145	83.73	108	100		
	ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ) 	229.99	308	229.99	357	353	・ 千葉産及び埼玉産は、少なめの出荷となっているが、今後は気温の上昇とともに生育が進み、出荷量が回復する見込み。 ・ 出荷量の回復が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。	
		450.51	540	450.51	464	416		
	はくさい 	61.12	85	61.12	108	121	・ 茨城産は、春ものが遅れていることから出荷の谷間となっているが、今後は徐々に増加傾向となり、中旬には一気に増加する見込み。 ・ 上旬までは少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回り、その後は徐々に落ち着いてくる見込み。	
		68.7	91	68.7	104	128		
	ほうれんそう 	307.66	433	307.66	391	365	・ 茨城産は、冬場の低温の影響で少なめの出荷となっている。群馬産は、出荷の谷間となり、上旬までは少なめの出荷の見込みであるが、中旬以降は増加の見込み。埼玉産は、気温の上昇とともに生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。 ・ 埼玉産の出荷が順調と見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。	
		341.25	520	341.25	413	370		
	レタス 	233.85	411	199.64	323	258	・ 茨城産は、春ものの生育が遅れ、出荷の谷間になっているが、気温の上昇とともに生育が回復し、中旬以降は出荷量が増加する見込み。兵庫産は、作型の切り替わり時期で、上旬までは少なめの出荷であるが、中旬以降は増加する見込み。香川産は、低温の影響で少なめの出荷の見込み。 ・ 上旬までは少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回るものの、中旬以降は平年並みに近づく見込み。	
		226.75	411	203.61	354	276		
	たまねぎ 	76.15	101	76.15	101	103	・ 北海道産は、出荷の終盤を迎え、下旬に向けて徐々に減少傾向となるが、平年よりは少ない出荷となっている。佐賀産は、順調な出荷の見込み。 ・ 北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		76.15	98	76.15	101	101		
果 菜	きゅうり 	370.98	452	253.93	436	514	・ 埼玉産は、低温の影響で少なめの出荷となっているが、気温の上昇とともに生育が回復し、中旬以降は増加する見込み。群馬産は、生育が回復し、数量が増加しているものの、平年よりは少なめの出荷の見込み。 ・ 出荷の回復が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。	
		350.33	456	242.77	439	516		
	トマト 	332.6	642	339.78	594	572	・ 熊本産は、2月の曇雨天による着果不良により、少なめの出荷の見込み。栃木産は、2月の日照不足の影響により、空洞果が散見され下級品が多いことから、少なめの出荷量となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・ 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)	
		311.06	591	321.78	554	528		
	なす 	389.03	415	347.77	399	422	・ 高知産は、気温の上昇によりやや出荷量は増加しているものの、平年には届かない見込み。福岡産も、日照不足の影響で少なめの出荷となっているものの、気温の上昇とともに中旬には増加する見込み。 ・ 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		397.74	405	330.95	394	414		
	ピーマン 	551.24	819	551.24	834	869	・ 茨城産は、2月の曇雨天の影響により花落ちした時期の出荷となることから、しばらくは少なめの出荷が続く見込み。宮崎産も、曇天の影響で少なめの出荷となっている。 ・ 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		513.91	794	513.91	793	806		
根 菜	だいこん 	79.03	117	79.03	134	129	・ 千葉産は、低温で生育が遅れ少なめの出荷となっている。今後、気温の上昇とともに生育が回復し、下旬からは出荷量が増加する見込み。 ・ 中旬までは千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		80.47	102	80.47	118	119		
	にんじん 	100.82	125	100.82	142	151	・ 徳島産は、低温の影響で生育が遅れており、平年より少なめの出荷となっているが、気温の上昇とともに生育が進み、中旬からは増量する見込み。 ・ 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		104.49	133	104.49	151	159		

種類		2月の価格動向		3月の価格動向			生育及び価格の4月の見通し		
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額				
			下旬		上旬	中旬			
いも	さといも 	217.95	216	217.95	228	228	—	《入荷量が少ないため、見通しは省略》	
		219.65	274	219.65	286	245	—		
	ばれいしょ 	88.17	116	88.17	115	121	・入荷見込量：8,909t (105) ・主産地：北海道 (53)、鹿児島 (42)		・北海道産は、出荷の終盤を迎え減少傾向であるが、平年並みの出荷となる見込み。鹿児島産は、小玉傾向であるものの、作付面積が増えていることから、平年並みの出荷の見込み。 ・平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
		88.17	109	88.17	102	117	・入荷見込量：4,700t (105) ・主産地：鹿児島 (56)、北海道 (38)、長崎 (6)		

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額を下回るもの(消費税は除く。)
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、2月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,499gで前年比105%、購入金額は、1,735円で同107%となり、購入量は前年をやや上回り、購入金額は前年をかなり上回った。

また、小売物価統計によると、3月のキャベツの小売価格は、242円で過去5か年平均比129%、レタスは、675円で同146%となり、キャベツ、レタスとも過去5か年平均を大幅に上回った。

生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5か年平均		平成23年		平成24年			
	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107
3月	4,815	1,721	4,867	1,788		0		0
4月	4,779	1,812	4,796	1,789		0		0
5月	5,109	1,894	5,171	1,820		0		0
6月	5,043	1,872	4,904	1,857		0		0
7月	4,441	1,696	4,362	1,759		0		0
8月	4,348	1,719	4,392	1,717		0		0
9月	4,831	1,804	4,598	1,803		0		0
10月	5,262	1,862	5,037	1,884		0		0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613		0		0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成24年	5か年比 (%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比 (%)
1月	166	230	138	547	690	126
2月	177	247	140	508	691	136
3月	188	242	129	461	675	146
4月	238		0	462		0
5月	172		0	380		0
6月	144		0	350		0
7月	160		0	324		0
8月	156		0	463		0
9月	155		0	562		0
10月	161		0	505		0
11月	162		0	371		0
12月	153		0	453		0

1) 過去5か年は平成19～23年の平均。
2) 平成24年3月の値は、3月中旬の速報値。

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

2月までの輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年比107%の18万トン、加工野菜は、同102%の29万トン、野菜全体では、同104%の47万トン、うち中国からの輸入量は、同105%の23万トンとなった。 生鮮野菜は前年をかなり上回り、加工野菜、野菜全体及び中国からの輸入量は、前年をやや上回った。	野菜の輸入数量の推移 (単位：トン、%)								主な野菜の輸入動向 (単位：トン、%)				
	区分	平成22年		平成23年		平成24年1～2月		平成24年2月	品目	輸入先	平成23年2月(A)	平成24年2月(B)	(B)/(A)
		前年比		前年比		前年同期比		前年同月比	たまねぎ	合計	36,992	29,850	81
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	178,966	107	98,928	108		中国	19,124	20,773	109
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	286,789	102	122,613	99		米国	14,328	5,398	38
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	465,755	104	221,540	103	にんじん	合計	6,073	5,532	91
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	232,064	105	96,664	98		中国	5,053	4,764	94
中国産シェア	51		52		50		44			台湾	867	523	60
資料：ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」									ねぎ	合計	4,342	4,085	94
										中国	4,340	4,083	94
									資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成24年2月は、速報値である。				

4 トピック ― 冬期のトマトの入荷に影響を与える要因 ―

トマトは、昨年12月以降、入荷量が少ない状態となり、卸売価格の高値が続いている。

この時期、トマトは加温設備のあるハウスで栽培されているが、入荷量に主として何が影響を与えているか、日照時間、気温及び重油価格について調べてみた。

その結果、気温と重油価格は入荷量との相関がみられなかったが、日照時間については、中程度の相関がみられた。

冬期のトマトの入荷量は、日照時間に影響を受けていると考えられることから、この時期のトマトの入荷動向を見通すに当たっては、産地の日照の予測動向に注目することが必要である。

トマトの入荷量と卸売価格の旬別推移
(平成23年12月上旬～平成24年3月中旬、東京都中央卸売市場)

資料：東京青果物情報センター

日照時間とトマトの入荷量との関係

注) 相関係数の算定方法

①日照時間とトマトの入荷量との相関関係

平成15～24年の12～3月における熊本県八代地域の旬別日照時間と、東京都中央卸売市場におけるトマトの旬別入荷量で相関をみた。

②平均気温とトマトの入荷量との相関関係

平成15～24年の12～3月における熊本県八代地域の平均気温との差と、東京都中央卸売市場におけるトマトの旬別入荷量で相関をみた。

③重油価格とトマトの入荷量との相関関係

平均気温とトマトの入荷量との関係

重油価格とトマトの入荷量との関係

資料：ペジ探, 農林水産省「農作物価統計」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>
★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 <http://www.alic.go.jp/y-suishin/vaiukyu01.000076.html>